



アイリスちくさ内山 便り

平成28年
10月発行



通勤中に感じた秋のお便りです。

イチョウが色づく季節。

通勤時に千種公園内を走ってくるのですが、その通りにはイチョウの木が両側に数十メートル並んでいます。

夏の濃い緑の葉から、最近では少しずつ黄緑色に変化してきており、いよいよ黄色のイチョウ並木へと移り変わっていきます。

秋の街並みに彩りを添えるイチョウ並木がライトアップされ黄金色となると、より一層ロマンチックな雰囲気となり、大切な人をお誘いして一緒に歩きたくなりますよね。

そんなロマンチックな街路樹のイチョウは臭いませんよね。

なぜでしょうか？

イチョウにも雄雌があり実を付けるのは雌なのですが、木を見ただけでは区別がつかず、開花時期に雄花か雌花か『花』を見ないとわからないようです。花がつくときには実もなるわけですから、そこで雄雌がわかつても手遅れということで、雄雌がわかっている状態で実が落ちない雄の木だけを選び、接ぎ木や挿し木をし臭いが気にならない雄だけのイチョウ並木が出来上がるということでした。



プランターでこんなに小さなスイカを収穫しました。
試食してみると甘みもしっかりあり美味しいいただきました。



近隣のニチイキッズの園児たちが遊びに来てくれました。
敬老を兼ねて手作りのお花をお一人お一人手渡してくださいました。



9/18.19に今池祭りが行われ散策してきました。
とても賑やかな雰囲気で地域とのつながりを感じたひと時でした。